

新刊

◇小池光歌集『梨の花』前

歌集『愚川の岸辺』以降の20
14年から17年までの歌を収録
した第10歌集。日常に独自の発

見があり、視点を定めた構図で人間味のある
面白さが魅力である。△シルバーセンターに
今年も頼みし庭の除草同年代の人來たりはた
ら〜▽(現代短歌社・3300円)

◇久々湊盈子歌集『麻裳(あさも)よし』

第10歌集。歌集題の「麻裳よし」は万葉集
の枕詞からとった。「短歌研究」に連載した

歌を中心とする、2年間の524首を収録。
△麻裳よし紀路は卯の花曇りにて瀬音に耳を
あずけて眠る▽(短歌研究社・3300円)

◇森尻理恵歌集『虹の表紙』 地球物理学

研究職の著者が、離婚後に一人息子を育てつ
つ仕事に励み、自身が病むという困難にも正
面から立ち向かう。第3歌集。△重さの軸と
長さの軸はそれぞれに原点があるはず 意見
書に記す▽(青磁社・2750円) (中川)